

プロポーザル方式の実施結果について

下記の業務に係るプロポーザルの実施結果について、次のとおり公表します。

令和7年7月25日

1. 業 務 名 南部地区乗合ライドシェア実証運行業務
2. 実施形式 公募型プロポーザル
3. 審 査 日 審査（プレゼンテーション審査） 令和7年7月22日
4. 参加者名（五十音順）
 - ・ 石川ダイハツ販売株式会社
 - ・ 株式会社 cicac
 - ・ 株式会社パブリックテクノロジーズ
5. 特定された受託候補者名 株式会社パブリックテクノロジーズ
6. 審査結果 別紙1 のとおり
7. 審査会議事録 別紙2 のとおり
8. 実施担当 小松市行政管理部地域交通政策室

（公表期間：上記公表の日から1年間）

南部地区乗合ライドシェア実証運行業務プロポーザル審査結果

企画提案書の提出のあった3事業者に対して、審査（プレゼンテーション審査）を行い、最も多く第1位の順位を獲得した事業者を当該委託の受託候補者として特定した。第2位以下については第1位の順位獲得数、第2位の順位獲得数の順に順位を決定し、また、第1位の順位獲得数、第2位の順位獲得数いずれも同数の場合には、各委員の評価得点の合計の順に順位を決定した。

	A社	B社	C社
第1位獲得数	1	0	3
第2位獲得数	2	1	1
評価得点の 合計点	303.75	248.75	338.75
順位	第2位	第3位	第1位

（評価得点の内訳）

	A社	B社	C社
業務実施体制 (20点×4人)	65.00	56.25	71.25
提案内容 (70点×4人)	203.75	167.50	237.50
価格評価 (10点×4人)	35.00	25.00	30.00
合計 (100点×4人)	303.75	248.75	338.75

（審査項目及び評価基準）

審査項目	項目		評価基準	評価点
	番号	内容		
業務実施体制	1	業務実績・実施体制	本業務の遂行のため、同種・類似業務の実績があり、必要な専門的知見・経験を有する人員が十分に配置されているか。	15
	2	スケジュール	実施スケジュールが現実的なものである、かつ柔軟な調整が可能なものであるか。	5

提案内容	3	業務の 実施方針	本市の地域公共交通に関する現状と課題を踏まえた提案となっているか。	20
	4	制度構築支援	乗合ライドシェアの運行概要の選定、乗合率を上げるための方策、住民や関係者等への周知及び説明資料作成、利用促進策、本市の交通事業者との関係性の構築、制度の持続可能性など、制度構築に対する業務実施方針や考え方等は妥当であるか。	20
	5	導入効果・ 支援体制	デジタル技術を活用し、利用者、運行事業者及び事業主体いずれにとっても効率的かつ利便性の高いシステムであるか。 他の交通手段との接続や補完関係など、地域公共交通の維持や機能向上等の効果が期待できるか。 運行中のサポート体制や支援内容は十分なものであるか。 保守管理の内容は必要かつ十分なものであるか。	20
	6	マネジメント	本業務を主体的にリードし、進捗を管理することができるか。また、小松市からの本業務に関する相談への対応や助言等の支援を的確に実施することができるか。	10
価格評価	8	提案価格	本実施要領に基づく提案上限額の範囲内であり、他の提案価格との比較において優位性があるか。	10
合計				100

(審査委員からの評価コメント：審査)

	主な評価内容
A 社	○各項目について満遍なく提案されており、悪いところがないという印象であるが特徴が見えなかった。 ○無難に問題なくやってくれる印象である。 ○実績も多く、経験豊富な印象であった。 ○電話番号から利用者を把握できるシステムはわかりやすい。
B 社	○システムについては素晴らしいと感じた。 ○地域への説明やドライバー募集については難しいのではないかと感じた。 ○小松市という地域性への配慮が十分でないように感じた。 ○将来性は感じたが、現状の小松市に合わないのではないかと感じた。 ○AI の活用などは実証実験で試してみたいと感じた。
C 社	○小松市の実情を理解し、分析した上で提案であると感じた。 ○小松市の状況を一番理解しており、問題なく実施できると感じた。 ○取組に対する積極的な姿勢を感じた。 ○現在実施している類似事業の反省点や改善点も提案してもらえるとよかった。

南部地区乗合ライドシェア実証運行業務プロポーザル審査会 議事録

- 1 開催日時 令和7年7月22日（火）9時30分～12時00分
- 2 開催場所 小松市役所7階704会議室
- 3 審査委員 南部地区乗合ライドシェア実証運行業務プロポーザル審査会委員

	役職	氏名	所属等
1	委員長	中子 富貴子	公立小松大学国際文化交流学部教授 小松市地域公共交通活性化協議会委員
2	副委員長	本谷 徹	小松市行政管理部長
3	委員	北川 潔	小松市町内会連合会副会長 小松市地域公共交通活性化協議会監事
4	委員	村中 肇	小松市総合政策部スマートシティ推進課課長

- 4 次 第 (1) 審査（プレゼンテーション審査）
(2) 集計及び受託候補者の特定

5 会議の経過

(1) 審査（プレゼンテーション審査）

事務局より、プロポーザルの概要、審査基準、評価方法について説明を行い、以下のとおりプレゼンテーション審査を実施。

(委員長)	それでは、A社の入室をお願いします。（A社入室）
(委員長)	これより、プレゼンテーション審査を始めます。それでは、審査に入る前にプレゼンテーションに係る留意事項を申し上げます。企画提案内容のプレゼンテーションは20分以内とします。終了1分前にベルを1回、20分経過時にベルを2回鳴らします。また、質疑応答を10分程度行います。 それでは、A社のプレゼンテーションを始めてください。
(A社)	(プレゼンテーション)
(委員長)	それでは、質疑に入ります。質疑のある方は、挙手をお願いいたします。 (質疑応答)
(委員長)	時間ですので質疑を終了します。審査結果は後日通知いたします。 ご退出をお願いします。（A社退出）
(委員長)	それでは、各委員は採点及び評価コメントを記入ください。
	(続いて、B社、C社の順にプレゼンテーション及び質疑応答を実施。)

(2) 集計及び受託候補者の特定

以下のとおりプレゼンテーション審査を実施。

(事務局)	(集計表配布)
(委員長)	事務局より集計結果が配布されました。各委員の採点表と集計内容に誤りがないか確認願います。 それでは、結果を発表いたします。 各委員から最も多く第1位の順位を獲得した事業者は、「C社」です。このため、「C社」を受託候補者として決定したいと思いますが、いかがでしょうか。
(委員一同)	(同意)
(委員長)	この結果、受託候補者は、C社となりました。 以下、第1位の順位獲得数及び第2位の順位獲得数等に基づき、 第2位 A社 第3位 B社 と決定したいと思いますが、いかがでしょうか。
(委員一同)	(同意)
(委員長)	以上で、プレゼンテーション審査を終了いたします。